

環境基本計画における数値目標(指標)の実績調査表

環境目標1 自然環境の保全及び創造

数値目標(指標)		基準値	H23 実績値	H27 (目標値)	H32 (目標値)	平成23年度における取組内容	目標達成に向けた課題及び対応方針	担当課
1	イノシシ捕獲数(頭) (生態系や農作物等の被害防止のため、イノシシを捕獲します。)	268 (H21)	894 (H22)	823	856	イノシシ捕獲を依頼している猟友会に対し箱罠を44基製作し、貸し出している。	捕獲技術の向上のため捕獲研修会等を実施予定	農林水産課
2	松くい虫被害材積(m³) (森林及び景観の保全のため、市木である松への被害を防止します。)	787 (H21)	1,270 (H22)	747	700	松くい虫被害防止のため伐倒駆除(1,270m³)、及び地上散布(50ha)による防除を実施	被害防止のため計画を策定予定	農林水産課
3	稚魚(マダイ、ヒラメ、ガザミ、車海老)放流数(千尾) (漁獲量の確保などによる水産資源の維持のため、稚魚を放流します。)	1,015 (H22)	970 (H23)	1,050	1,100	稚魚放流 マダイ 339千尾 ヒラメ 100千尾 ガザミ 436千尾 車海老 95千尾	漁獲量安定のため、今後も継続していく。水揚げ状況により他魚種の新規放流も考慮する。	農林水産課
4	「自然と触れ合う機会」が多い人の割合(%) ※市民アンケート調査	41.6 (H22)	51.2 (H23)	45	50	H23.11アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)	毎年度調査を行いながら、継続的に状況を把握する。進捗状況によっては目標値の再設定を行う予定。	環境衛生課
5	学校給食での地元食材使用品目数(品) (地産地消の推進を図るため、学校給食での地元食材の使用品目を増やします。)	63 (H21)	70 (H22)	65	68	学校給食における食材使用調査を実施	継続して事業を行う。	学務課 ※H22のみ 農林水産課
6	森林(民有林)間伐面積(ha) (健全な森林の育成を図るため、間伐を実施します。)	58.2 (H21)	41.1 (H22)	62	70	間伐実施のための補助(500万円)を行った。	補助事業を継続して行う。	農林水産課

環境目標2 生活環境の保全及び創造

数値目標(指標)		基準値	H23 実績値	H27 (目標 値)	H32 (目標値)	平成23年度における取組内容	目標達成に向けた課題及び対応方針	担当課
1	「空気のきれいさ」の満足度(%) ※市民アンケート調査	71.0 (H22)	79.9 (H23)	75	80	H23.11アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)	毎年度調査を行いながら、大気汚染の防止に向けた啓発等を行う。進捗状況によっては目標値の再設定を行う予定	環境衛生課
2	「いやなにおい(悪臭)のなさ」の満足度(%) ※市民アンケート調査	59.9 (H22)	67.3 (H23)	65	70	上記と同じ。	毎年度調査を行いながら、悪臭の防止に向けた啓発等を行う。進捗状況によっては目標値の再設定を行う予定	環境衛生課
3	浄化槽普及率(%) (生活排水の適正な浄化の拡大を図るため、浄化槽の普及率を高めます。)	21.4 (H21)	22.8 (H22)	27	35	浄化槽設置者への補助 (H22年度実績88基)	浄化槽普及促進に向けて啓発等を行う。 また、単独浄化槽の転換を図る。	都市整備課
4	水洗化率(%) (公共下水道、浄化槽、コミュニティプラントを利用する水洗化率を高めます。)	39.8 (H21)	37.3 (H22)	48.7	56.8	下水道未加入者への加入促進及び浄化槽の設置補助	下水道加入促進、浄化槽の設置補助を行う。	都市整備課
5	「水のきれいさ(海・川・海岸)」の満足度(%) ※市民アンケート調査	34.3 (H22)	37.9 (H23)	40	45	H23.11アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)	毎年度調査を行いながら、水質の改善に向けた取組の充実を図る。進捗状況によっては目標値の再設定を行う予定	環境衛生課
6	公共用水域(河川)の水質(BOD)※環境基準の達成率(%) (環境基準達成に向けて、河川における水質を維持します。)	100 (H21)	100 (H22)	100	100	熊本県:水質調査報告書(公共用水域及び地下水)による状況の把握	河川の水質の維持に向けた継続的な監視を行いながら、生活排水対策の推進及び森林などの整備を促進する。	環境衛生課
7	公共用水域(海域)の水質(GOD) ※環境基準の達成率(%) (環境基準達成に向けて、海域における水質を維持します。)	100 (H21)	100 (H22)	100	100	熊本県:水質調査報告書(公共用水域及び地下水)による状況の把握	海域の水質の維持に向けた継続的な監視を行いながら、生活排水対策の推進及び森林などの整備を促進する。	環境衛生課
8	「まちなみの美しさ」の満足度(%) ※市民アンケート調査	43.1 (H22)	52.8 (H23)	48	55	H23.11アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)	毎年度調査を行いながら、環境と調和した生活空間の整備・確保に向けた施策の推進に努める。進捗状況によっては目標値の再設定を行う予定	環境衛生課
9	指定文化財件数(件) (重要な文化財の適正な保全及び継承のため、指定文化財の件数を増やします。)	39 (H21)	39 (H22)	39	45	指定前の文化財の詳細な調査	今後も継続した調査を行い、指定根拠が揃い次第順次指定の手続きを行う。	社会教育課

環境目標3 地球環境の保全

数値目標(指標)		基準値	H23 実績値	H27 (目標値)	H32 (目標値)	平成23年度における取組内容	目標達成に向けた課題及び対応方針	担当課
1	「地球温暖化に対する関心度・取組み」への満足度(%) ※市民アンケート調査	20.0 (H22)	26.6 (H23)	25	30	H23.11アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)	市域の現状を把握し、市広報等による周知や出前講座を利用した啓発を行う。	環境衛生課
2	「生活の便利さよりも環境の保全や省エネルギーを優先したい」と考える人の割合(%) ※市民アンケート調査	64.1 (H22)	61.2 (H23)	70	75	H23.11アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)	毎年度調査を行いながら、環境の保全及び省エネ行動の実践に向けた啓発等を行う。	環境衛生課
3	市の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量(kg-CO ₂) (市が率先して、温室効果ガス排出量を削減します。)	557,831 (H21)	591,665 (H22)	498,058	466,929	H24.3第2次地球温暖化対策実行計画策定(計画期間:H24~H28)※対象範囲:市が行う全ての事務・事業(委託等を除く。)に拡大	計画における組織的な取組の徹底及び市職員の環境配慮意識の向上に向けた研修会等の開催を検討予定	環境衛生課
4	市庁舎電気使用量(kwh) (電気使用量を減らし、電気からの二酸化炭素排出を抑制します。)	885,498 (H21)	913,395 (H22)	826,179	800,479	・夏季期間の冷房運転における管理徹底(冷房運転開始の条件、運転時間の設定) ・昼休み及び勤務時間外の照明消灯	・電力消費設備の管理徹底 ・ポスター掲示等により市職員の節電意識の向上を図る。	監理課

環境目標4 循環型社会の構築

数値目標(指標)		基準値	H23 実績値	H27 (目標値)	H32 (目標値)	平成23年度における取組内容	目標達成に向けた課題及び対応方針	担当課
1	レジ袋辞退率(%) (マイバッグを利用し、レジ袋を辞退する人の割合を 高めます。)	実績無 (H21)	76.2 (H22)	80	80	・広報活動(実績公表) ・事業者訪問 ・レジ袋削減(マイバック)推進キャンペーン	・本運動の趣旨を周知し、市民総ぐるみでの運動へと展開していくことが望まれる。 ・市広報、各種イベント等を活用して情報等の提供を継続して行う。 ・協定参加事業者に対して有料化導入への移行を推進する。	環境衛生課
2	生ごみなどを堆肥化し、肥料などにしている人の割合(%) ※市民アンケート調査	35.2 (H22)	37.9 (H23)	42	50	・広報活動 ・生ごみ処理機購入費補助金事業の実施	・生ごみ処理機購入費補助金事業の見直し(H24規則一部改正)と補助事業の継続、ダンボールコンポストの広報活動の強化を行う。	環境衛生課
3	ごみ出しのマナーやごみの分別の状況への満足度(%) ※市民アンケート調査	52.1 (H22)	64.1 (H23)	58	65	・広報活動(分別の仕方等の掲載) ・出前講座での住民説明会	・各地区での分別指導員の育成や出前講座による分別の方法等の説明会の実施、分別作業の現地指導などを行う必要がある。	環境衛生課
4	レジ袋削減推進協定参加店舗数(件) (レジ袋の無料配布中止等に取り組む参加店舗を増やします。)	101 (H21)	100 (H22)	120	140	・広報活動(参加事業者掲載等) ・事業者訪問 ・レジ袋削減(マイバック)推進キャンペーン	・県、近隣市等と連携して広域的に取り組み、店舗を複数市町村に渡って保有する事業者に対して参加を働きかける。 ・商工会等と連携して説明会の開催又は訪問による説明を行う。	環境衛生課
5	1人1日当たりのごみ排出量(g) (家庭での生ごみの堆肥化や事業所での適切な分別などにより、排出される一般廃棄物を抑制します。)	726 (H20)	754 (H21)	690	654	・広報活動(分別の仕方等の掲載) ・生ごみ処理機購入費補助金事業の実施 ・出前講座での住民説明会	・生ごみ処理機購入費補助金事業の見直し(H24規則一部改正)と補助事業の継続、ダンボールコンポストの広報活動の強化など生ごみの堆肥化を拡大していく必要がある。 ・各地区での分別指導員の育成や出前講座による分別の方法等の説明会の実施、分別作業の現地指導などを行う必要がある。	環境衛生課
6	リサイクル率(%) (家庭や事業所における適切な分別により、焼却ごみを減らし、資源化します。)	10.4 (H20)	12.7 (H21)	15	20	上記と同じ。	上記と同じ	環境衛生課
7	廃棄物の不法投棄の状況への満足度(%) ※市民アンケート調査	12.8 (H22)	19.2 (H23)	25	40	・巡回パトロールの実施 ・看板の設置	・巡回パトロールの継続実施 ・ダミー監視カメラの導入の検討を行う。	環境衛生課

環境目標5 環境教育及び環境保全実践行動

数値目標(指標)		基準値	H23 実績値	H27 (目標 値)	H32 (目標値)	平成23年度における取組内容	目標達成に向けた課題及び対応方針	担当課
1	環境問題に関心のある人の割合(%) ※市民アンケート調査	82.5 (H22)	89.3 (H23)	85	90	H23.11アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)	毎年度調査を行いながら、継続的に状況を把握するとともに、学校等の関係機関と連携した環境教育及び環境学習の充実を図る。	環境衛生課
2	こどもエコクラブ参加団体数(団体) (こどもの段階から環境問題に関心を持ち、自主的な環境保全活動を行う参加団体数を増やします。)	1 (H21)	0 (H22)	5	10	各小中学校へメンバー募集依頼	・事業について十分周知を行い、参加を働きかけていく。 ・学校等の関係機関と連携する。	環境衛生課
3	環境「出前講座」の開催回数(回) (環境問題に関する知識やノウハウを身につける機会を増やします。)	1 (H21)	6 (H22)	6	12	・ごみの減量・分別ごみの出し方(2回)、 水質改善(4回) ・合津終末処理場において市内小学生の見学・研修の受け入れ	市民の環境配慮意識向上のため、継続的に出前講座利用の啓発を行うとともに、メニュー等の見直しを行う。進捗状況によっては目標値の再設定を行う予定	環境衛生課
4	アダプトプログラム登録団体数(団体) (環境美化意識の向上やボランティア活動の活性化を図るため、市と協働する登録団体を増やします。)	2 (H21)	3 (H22)	9	16	・アダプトプログラムを導入可能な公共施設について選定が完了 ・アダプトプログラム登録団体の募集及び活動状況について市広報及びホームページへの掲載による周知を行った。	アダプトプログラム登録団体の募集及び活動状況を市広報紙及びホームページへ掲載による周知を継続的に実施していく。	企画政策課
5	環境に関する講演会や自然観察会などに参加している人の割合(%) ※市民アンケート調査	26.0 (H22)	28.3 (H23)	30	35	H23.11アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)	毎年度調査を行いながら、継続的に状況を把握する。イベント等の開催については今後検討を行う予定	環境衛生課